



梅光学院同窓会東京支部だより

2020年4月吉日
発行：梅光学院同窓会東京支部
支部長：飯沼菜保美
編集：2020年度東京支部執行部

梅光学院同窓会東京支部 2020年度総会ならびに懇親会中止のお知らせ

東京支部 支部長 飯沼菜保美 (高21)

今春はゆっくり花の盛りも満喫することなくいつしか過ぎて、風薫る季節になりました。さて、今年には本部同窓会の開催予定に合わせて例年より遅い7月7日に総会ならびに懇親会を開催する予定にしておりましたが、中止いたします。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、先行きが見えず、世界中が困難な状況に置かれている今、皆さまがお集まりいただくにはリスクが想定されることから、やむなく中止という決断をさせていただくことになりました。

来年はこの事態が収束して皆さまと心からの明るい笑顔で安心してお会いできることを切に願っております。その時は楽しい時間をお過ごしいただけるよう全力を尽くしてまいります。楽しみにされていた皆さまには多大なご迷惑をおかけすることをお詫びいたしますとともに何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。また、皆さまにはおかれましては外出を自粛して気が重くなることもあるかと存じますが、どうぞお体に気をつけてこの試練を必ず乗り越えてまいりましょう。最後に一言：今、私は好きな音楽を聴くと心穏やかになれます。普段は特にお気に入りではなかった曲や歌声もこの時期だからこそ心に沁み入ることもあります。皆さまも身近にある癒しを見つけて、ご自身の心のケアも大切になさってくださいませ。

会費納入および「落穂の箱」募金のお願い ～ 会員の皆さまへ

総会・懇親会中止の今年度も例年通り「年会費」「落穂の箱 募金」をお願い申し上げます。東京支部は、会員の皆さまにお納めいただく年会費によって運営されております。今年においては総会、懇親会は中止になりますが、開催予定でしたホテルへのキャンセル料の支払い、例年通りの支部だよりの作成と発送、次年度の総会ならびに懇親会を開催するための費用及び次世代への勧誘活動の経費が必要です。「落穂の箱」募金につきましては、同窓会と関わりを持ち、寄付を必要とする団体に充てているほか、東京支部運営のための補助にも充てています。以上、趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

会費納入につきましては、10月末までに同封の郵便振込用紙にて、もしくは右記口座にお振込みをお願いいたします。

【振込口座】
銀行名： ゆうちょ銀行
支店名： 〇一八（ゼロイチハチ）
口座番号： 普通預金 2965602
口座名義： 梅光学院同窓会東京支部

- ※ 振込人名には必ずフルネームと卒業回（または会員番号）をご記入ください。
- ※ お振込みいただきましたら、念のためメール（secretariat@baiko-tokyo.com）にてご連絡ください。

住所・メールアドレス等変更連絡のお願い

東京支部のホームページ（http://baiko-tokyo.com/）は、東京支部の事務局も兼ねております。入退会や住所変更などは「会員登録・住所変更」メニューよりご連絡ください。お知り合いの消息などもお知らせいただければ幸いです。メールの場合は secretariat@baiko-tokyo.com へ、郵送の場合は封筒の宛先をお願いいたします。

お問い合わせ： 飯沼 菜保美 (高21) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
時山 響子 (高27) XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

ごあいさつ

同窓会 会長 片山宣子 (高19・大日01)



今年の春は、木々の芽吹きも桜の美しさも、春を告げる鳥の渡りの話題も吹き飛んでしまいました。新型コロナウイルスは温暖化によって解き放たれたウイルスの可能性もあるという話も聞きます。現代を生きる私たち人類に大きな問いを突き付けているとも言えます。家族親族・友人と自由に会い、共に食し談笑すること・野心に満ちたビジネスの商談・興奮に包まれる体験や共感等々の実現が困難になりました。

同窓会もこの影響を受け、総会・懇親会・メモリアルデーの行事を中止することになりました。「こんなことが自分の生きている間にあるとは想像もしなかった。」「自粛だ、大変だと言ってもテレビも見られるし、スーパーに行けば買い物もできる。戦争だと言うけれど戦時はこんな自由はなかった。たいした困難ではない。」等々感想はそれぞれ。おしゃれな店での外食ができないのがストレスというのは豊かさの驕りかもしれません。

私はこのウイルスの出現の時、「バベルの塔」のお話を思い起こしました。「ソーシャルディスタンスを保つ・三密は絶対ダメ」と言われ、人々は分断され個であることを求められています。バベルの塔のお話では、言葉が通じなくなった人々は分散し「地に満ちよ」と言われた神の計画を実現することにもなりました。混乱が新しい世界の出発ともなったということでしょう。

私たちは希望を失わず自分の周囲を見回し、助け合い「平和を創り出す人」となる時であろうと思います。独居の人に笑顔で挨拶し、買い物の手助けをする、そんなことから歩みだすことがいいのかもしれませんが、皆様、賢く穏やかにご健康でお過ごしください。またお目にかかることを楽しみにしております。



ピーテル・ブリューゲル作「バベルの塔」

今この時に寄せて

同窓会 元会長 梶間眞壽美 (高07)



2020年1月1日、私は「ピースボート」で赤道を通過しバリ島に向って行きました。「オセアニアクルーズ」に参加したのです。「海は広いな大きいな・・・海にお舟をうかばせて行ってみたいなよその国」デッキに立った時、思わず小学唱歌をうたっていました。大海の青、朝日、夕日、星空など大自然の営みに感動しました。船内の企画や行事も興味深いものでした。世界平和をテーマにした講演会、核の被害を受けた人、異常気候で海面上昇による被害を受けた原住民の話、また太平洋戦争の戦跡めぐり等々の催しは、あらためて戦後75年間、平和が続いていることの重さを心に刻みました。小学2年の時、父がビルマで戦死し、細江町の光明寺で母と共に遺骨（箱の中は石ころでした）を受取った時、私は号泣したことを思い出しました。今度の船旅は、楽しくもあり、また83年の私の生涯を振り返る大切な時間でもありました。

2月16日、神戸港で下船、無事57日間の船旅は終わりました。ところが、「新型コロナウイルス」禍。私もクルーズ帰国者の一人ということで自重。幸い私自身に異常はなかったのですが、状況は日毎に悪化。第二次世界大戦後最悪の出来事といわれウイルスは世界中で猛威を振り人類を試しているような恐ろしい動きをしています。一日も早く終息することを祈っています。(4月9日 記)



東京支部 顧問 江川英子 (高06)



同窓生の皆様、今年の総会は不愉快なコロナの事件で、お会いできず誠に残念なことになりました。外出もままならず皆様は如何お過ごしでいらっしゃいますか。一人一日中家のなかで過ごす時間が沢山ありますから、折角ですから、普段しなかったことを探してみるのはいかがでしょうか。私はながらく聖書から遠ざかっておりましたので、改めて新約、旧約聖書を読むことにいたしました。我ながら素晴らしいことと思っています。そして今この時間を与えられましたことを感謝しています。

まだ先行きが見えませんが、必ず終わりはあります、桜もまた来年咲いてくれます。頑張るこの困難な状況を乗り越えましょう。

